シンポジウム 1 「めまい疾患の診断基準—日本めまい平衡医学会の新診断基準と Bárány Society の新診断基準」

司会の言葉

武田 憲昭¹⁾・池園 哲郎²⁾

Noriaki Takeda¹⁾, Tetsuo Ikezono²⁾

¹⁾*Department of Otolaryngology, University of Tokushima School of Medicine*

²⁾*Department of Otolaryngology, Saitama Medical University*

診断は診断基準に基づいて行うべきものです。一方、診断基準は疾患の定義や使用目的により、複数の診断基準が存在する場合があります。本シンポジウムでは、メニエール病、良性発作性頭位めまい症、前庭神経炎、心因性めまいを取り上げました。メニエール病と良性発作性頭位めまい症については、日本めまい平衡医学会の診断基準化委員会で改訂が行われている新しい診断基準案とバラニー学会の委員会が発表した新診断基準について、池園哲郎先生（埼玉医科大学）と今井貴夫先生（大阪大学）に解説をしていただきました。また前庭神経炎と心因性めまいについては、日本めまい平衡医学会とバラニー学会の委員会で新し

い診断基準が作成される予定ですが、その方向性について室伏利久先生（帝京大学溝口病院）と堀井 新先生（新潟大学）に解説していただきました。同時に、それぞれの診断基準の使い方と問題点についても議論しました。

本シンポジウムが、新しい診断基準の理解と普及につながることを期待しています。なお、本学会の診断基準はER誌（日本めまい平衡医学会診断基準化委員会：めまいの診断基準化のための資料 診断基準 2017年改定, Equilibrium Res 76: 233-241, 2017）を、バラニー学会の診断基準については下記リンクをご参照ください。

<http://www.jvr-web.org/Barany-feedback.html>

¹⁾ 徳島大学医学部耳鼻咽喉科

²⁾ 埼玉医科大学耳鼻咽喉科